


子供たちの学力向上に向けて

八千代市立高津小学校
校長 市村 順一郎

1 学校の取組

高津小学校では、様々な方法で子供たちの学力向上に努めています。今年度も以下のことを重点として取り組んでいきます。

(1) 「高津学びっこ」を作成し、学習ルールの意識化を図っています。

高津まなびっこ 	
①	休み時間のうちに、次の授業の準備をします。
②	持ち物は、全部そろっています。 けずってあるえん筆、消しゴム、下じき、定規、赤・青えん筆
③	話す人の方を見て、し勢よく話を聞きます。
④	聞く人の方を見て、全体に聞こえる声で発表します。
⑤	正しいえん筆の持ち方で字を書きます。よいし勢で字を書きます。

どの教室にも掲示し、各学級で学期始めに、学習の基礎的な約束(ルール)を子供たちと確認しています。今年度も、引き続き各学年・学級で指導してきます。

また、学期に数回、子供たちに自己評価をさせ、常に、「高津学びっこ」を意識できるようにしていきます。

ご家庭でも、時々お子様と一緒に確認していただけると大変ありがたいです。

(2) 朝の時間を有効に活用しています。

登校後すぐに朝の会を実施し、午前8時25分から40分までの15分間に、次のような活動を行います。

- ①漢字や計算の学習
- ②読書や地域の方による読み聞かせ(毎週火曜日)
- ③授業数増加に伴い1年生を除く学年で、水、木、金の3日間、15分の授業時間を設定しています。

(3) 個別指導の時間を設定しました。

月曜日の放課後と火曜日の放課後に、短い時間ですが(30分程度)、一人一人の子供に対応できるよう、個別に指導する時間を設けました。補習や個別指導をする場合には、事前に保護者の方へ連絡をして、実施いたします。

(4) 漢字や計算及び思考力の向上に力を入れています。

繰り返しのミニテストや高津ぐんぐんテスト(月例テスト)の実施。この高津ぐんぐんテストは、事前に実施日や範囲を学年便だより等で知らせて実施しています。その月に学習した内容から出題し、1回だけでなく、数回実施することで定着を図っていきます。

(5) 音読に積極的に取り組んでいます。

音読カードを使ったり、校内放送で学級毎に発表をしたりしています。今年度も昼の校内放送を活用して、各学年の発表を行います。

(6) 読書に力を入れています。

火曜日朝の時間に、全校朝読書を位置づけ、「読書の記録」を作成し、年間で読んだ本を記録していきます。教師も一緒に朝読書を行います。例年同様、BookRainbowによる読み聞かせ、公民館の方の読み聞かせを月に数回設定し実施しています。

(7) 教師の指導力の向上を図っています。

本校は、国語科を研究教科とし、教師一人一人の指導力向上に努めています。外部から講師を招いて、全担任が必ず1回は授業研究を実施し指導を受けています。

また、初若年教員(教職経験5年未満)は、国語科以外にも、自分で研修する教科を決め、研究と同様、外部講師を招いて授業研究を行い、指導力の向上に努めています。

(8) 表現力を高めるため、児童の言葉(語彙)を広める工夫をしています。

話す時や書く時に使う言葉を集めた「ことばの表」を厚紙に貼り机の中に入れておき、いつでも見ることができるようにして、児童の語彙を広め表現する力を高める一助としています。

2 家庭学習の手引き

子供の学力向上は学校だけの取組で確かな学力の定着と向上を図ることはできません。家庭と学校が連携を深めることで、より確かな学力が身につくものと考えます。

そこで、子供たちの学力向上に向けて家庭学習の手引きをお知らせし、保護者の皆様にご理解とご協力をいただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

家庭学習とは、学校からの宿題だけでなく読書や自主学習を含めたものを言います。子供たちが基礎的・基本的な学力をしっかりと身につけるには、繰り返しの学習が必要となります。そのためには、基本的な生活習慣を確立することがとても大切です。「早寝、早起き、朝ごはん。うんち」の実践からお願ひします。

(1) 家庭学習の習慣

- | | |
|----------------------|------------|
| ①毎日必ず学習する。 | → 家庭学習の習慣化 |
| ②テレビを消して学習に取り組む。 | → 集中力の向上 |
| ③机の上をきれいにし姿勢をよくして行う。 | → 学習の効率化 |
| ④学習が終わったら、次の日の準備をする。 | → 忘れ物の防止 |

(2) 身に付けたい家庭学習の姿勢

<低学年>学校の宿題はできる。毎日家で学習しようという気持ちが持てる。

<中学年>学校の宿題は確実にできる。宿題以外にも少しずつ自主的な学習ができる。

<高学年>宿題が出されなくとも基本的な学習はできる。興味や必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習の時間のめやす

<低学年>20分程度 <中学年>30～40分程度 <高学年>50～60分程度

(4) 家庭学習の内容

<国語>漢字練習,漢字ドリル,意味調べ,日記,音読,視写,テスト問題をもう一度解く。

<算数>計算練習,計算ドリル,教科書の問題,テスト問題をもう一度解く。

<社会・理科・総合>

勉強したことに関係あることを資料などで調べる、授業で学習したことを、もう一度ノートにまとめる。

<日常生活>

読書、国語辞典・漢字辞典・その他の図鑑を身近に置いて調べる。日本地図・世界地図・地球儀を身近に置いて調べる。新聞などに目を通す、自然や生き物と触れ合い観察する、詩や歌の暗唱をする等

家庭学習は、毎日短い時間でも「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、ご家庭でお子様としっかり話し合い、無理のないように進めることが大切です。そして、家庭学習が終わったら、お子様が学習したことにできるだけ目を通し、声をかけてください。ほめたり励ましたりすることで、子供は、どんどんやる気をだします。また、学習の様子を把握しながら、できるだけ一緒に取り組んでください。学習の様子で、何か気になることがありましたら、遠慮せず担任にご相談ください。

県教育委員会のHPでも家庭学習について紹介されていますので、ぜひご覧ください。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/2015/kateigakus-syougaku.html> また、八千代市教委HPに「やっちに挑戦」<https://www.yachiyo.ed.jp/yachiyo/?s=やっちに挑戦>や県教委HPに「ちばっこチャレンジ100」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/documents/4tomisatosiritutomisatoshou.pdf>と、家庭学習できる問題が掲載されていますので、ぜひご活用ください。